

一生勉強、一生青春

—練習は不可能を可能にする—

東京都足立区立江北桜中学校講演会資料



2018年3月8日(木)

14:25~15:15

開倫塾

塾長 林 明夫

Q 1 : 好きなことばはありますか。あったら、教えてください。

A : あります。たくさんあります。

(1) 「小学4年生は、新聞を毎日読む」

(2) 「練習で泣いて、試合で笑え」

(3) 「ブルドッグ魂 (だましい)」・食いついたら離すな

(4) 「一所懸命」・一つの所で、命を懸(か)けるくらい熱心にものごとに取り組む

(5) 「スポーツの3つの宝」

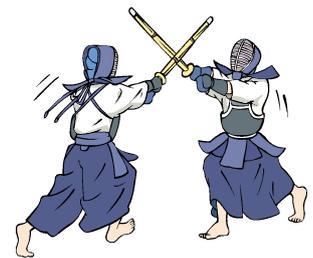
① 「練習は不可能を可能にする」

② 「フェアプレイ」

③ 「よき友」

(6) 「教育ある人とは、一生勉強し続ける人」

(7) 「一生勉強、一生青春」



Q 2 : 林さんは、どのような仕事や活動をしているのですか。

A : (1) ①開倫塾塾長

②学校法人有朋学園有朋高等学院理事長 (福島市)

③宇都宮大学大学院工学研究科客員教授

④マニー株式会社 (手術用縫合針製造) 社外取締役 (2004年～2010年)

本社：宇都宮市、現地法人：ハノイ、ヤンゴン、ビエンチャン

⑤社会福祉法人両崖福祉会特別養護老人ホーム清明苑監事 (足利市)

(2) ①開倫ユネスコ協会会長

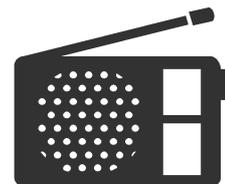
②公益財団法人文字・活字文化推進機構評議員

③公益社団法人経済同友会幹事

(3) ①C R Tラジオ栃木放送「林明夫の歩きながら考える」担当 毎週土曜日 9時 15分～ 25分放送、32年目

②学習塾専門月刊誌などに毎月コラムを寄稿

③開倫塾ニュースに毎月巻頭言を寄稿



Q 3 : 現在の社会は、どのような社会だとお考えですか。今、求められる能力は何ですか。

A : (1) 「知識が基盤となった知識基盤社会」

・ 知識、情報、技術を相互作用的に用いる能力

(2) 「グローバル社会」

・ 多様な集団で交流する能力

(3) 「課題山積（かだいさんせき）社会」

・ 自律的に行動する能力



Q 4 : 10年後の日本や世界は、どのような様子になるとお考えですか。

A : (1) 日本は超少子・高齢化社会に突入しています。

(2) 世界では人口爆発が始まっています。新興諸国、特にアフリカの 54 か国では人口が急激に増加しています。

(3) AI(人工知能) や IoT(もののインターネット) が、驚異的に進化します。



Q 5 : 今、中学生や高校生が学び、身に着けたほうがよいことは何ですか。

A : (1) 学び方を学び、身に着けることです。

①理解の仕方(予習・復習の仕方)

②定着の仕方(音読練習、書き取り練習、計算・問題練習)

③応用の仕方(試験の受け方)

④必要なこと・大切なことはすべてノートに取る力。

ノートを整理し、活用する力



(2) 読解力を身に着けることです。

①読書により思慮深さを身に着けること

②新聞を毎日読み、自分で考える力、批判的思考能力を身に着けること

③辞書を用い、語彙（ごい）力を身に着けること
＜語彙は力、ことばは力＞です。



(3) 「5S」(ごえす) を身に着けることです。

①「整理 (seiri)」 いらぬものは捨てる

②「清掃 (seisou)」 きれいに掃除をする

③「整頓 (seiton)」 ものと同じ場所に置く

④「清潔 (seiketsu)」 ①～③を継続する

⑤「躰 (shitsuke)」 自分から進んで行く



(4) 中学生や高校生は、別な意味の「躰」も身に着けることです。

①美しい立ち居振る舞い (たちいふるまい)

②美しいことば遣い (づかい)

③元気なあいさつ



Q 6 : 最後に一言どうぞ。

A : (1) 中学校・高校でのすべての教科の内容やすべての教育活動は、役に立ちます。役に立たないことは一つもありません。



(2) ですから、学校の教科書や教材、授業ノートは決して捨てないで、一生の宝物として大切に保存し、折に触れ、繰り返し学び直すことです。

(3) 学び直したことは、ノートに書き加え、「マイ・ノートブック」を一生かけて作りましょう。



ご清聴を感謝いたします。

ご質問、ご意見、ご批判があれば、ご自由にご発言ください。